

令和元年7月12日

第123回恩賜金記念式典・講演会



旧相川町の恩賜金は、明治29年に皇室財産として宮内省御料局の管理下にあった佐渡鉱山が三菱合資会社に払い下げられるにあたり、皇室から交付された下賜金です。

恩賜金は、恵まれない人々の減税にあてられるとともに基本財産として積み立て、旧中山トンネルの開設をはじめとする事業推進の資金として活用され、相川の基盤を築き上げる大きな役割を果たしました。

相川の発展に多大に寄与した恩賜金に感謝するとともに、みんなで佐渡金銀山が世界遺産になりますように応援しませんか。参加を希望される方は、事前にお申し込みください。

日時：令和元年7月20日(土)午前11時～正午

会場：あいかわ開発総合センター 大集会室



佐渡を世界遺産に

○式典(午前11時～11時25分)

御沙汰書棒読、恩賜金記念式の歌斉唱 他

○講演会(午前11時30分～正午)

演題 「佐渡鉱山やわらぎの歴史」

講師 橋本 博文さん(新潟大学名誉教授・人文
社会科学系フェロー)

○お申し込み・お問い合わせ

市役所相川支所 地域支援係(岩崎・市橋)

☎ 0259-74-3111

